



平成 28 年 1 月 27 日

各位

会社名 株式会社東京自働機械製作所
代表者名 代表取締役社長 山本 治男
(コード番号 6360 東証第2部)
問合せ先 取締役執行役員経理担当 清水 政彦
(TEL 03-3866-7171)

関係会社株式評価損、関係会社に対する貸倒引当金繰入額の計上および 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 3 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の個別決算における関係会社株式評価損、関係会社に対する貸倒引当金繰入額の計上についてお知らせするとともに、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 15 日に公表した平成 28 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正しますので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 関係会社株式評価損および関係会社に対する貸倒引当金繰入額の計上

当社が保有する関係会社株式のうち、PT. TAM PACKAGING ASIA の株式の実質価額が低下していることから、関係会社株式評価損（36 百万円）を特別損失に計上しております。

また、同社に対する債権について、貸倒引当金繰入額を販管費（41 百万円）、特別損失（100 百万円）に計上しております。

2. 平成 28 年 3 月期通期個別業績予想の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,500	百万円 150	百万円 250	百万円 200	円 銭 13.88
今回修正予想(B)	8,700	330	450	210	14.59
増減額(B-A)	1,200	180	200	10	—
増減率(%)	16.0	120.0	80.0	5.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	7,812	284	390	298	20.72

3. 修正の理由

売上高につきましては、包装機械部門の受注が好調なことに加え、生産機械部門では前年度に引き続き大型プロジェクトの売上が継続しており、前期を上回る売上となる見込みです。

利益面では、売上が増加したこと、コスト低減対策が寄与したことなどから、営業利益、経常利益は大幅な増益となる見込みですが、関係会社株式評価損、関係会社に対する貸倒引当金繰入額を計上したことから、当期純利益は当初予想に対し微増となる見込です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上